

## 要 旨

### 印刷メディア産業と人財育成

国際印刷大学校 木下堯博

全人類が直面している諸問題（環境、エネルギー、食糧、医療、教育、セキュリティ、水資源など）を革新的な技術を用いて積極的に取り組むことを目的として、2008年に、シンギュラリティ大学（SU）がシリコンバレーを拠点として設立され、世界各都市にネットワークがある。世界各国にて幾何学的に進化するAI及びロボット技術などにより、直面している課題を解決することを遂行することにより、爆発的な経済成長をもたらされる可能性がある。日本ではSociety5.0を内閣府が中心として運用されている。狩猟社会、農耕社会、工業社会、情報社会に続く新たな経済社会でサイバー空間とフィジカル空間を高度に融合させることにより、経済的発展と社会的課題の解決を両立させ、人々が快適で活力に満ちた質の高い生活を送ることの出来る人間中心の社会を目指している。AI、IoT、ビッグデータ等を活用し、経済・社会のあらゆる分野の構造改革引き起こし、地域・暮らし・現場の課題を革新的技術で解決するとともに潜在成長力を高めて、2020年のGDP600兆円を目指している。

一方、印刷産業はGDPと人口の増大により、成長してきたが工業統計から印刷・同関連業1991年に8兆9千億円の出荷額が2015年には5兆3千億円に減少し、事業所数、従業者数も減少している。又、日本の人口も2017年1億2653万人から2065年には8807万人（中位推定）に減少し、15歳から64歳までの労働人口も7578万人から4529万人に減少していくことが予想されている。この50年間を近似方程式で算出すると総人口の減少と労働人口の減少の割合はほぼ同一直線上でその減少率勾配は労働人口勾配が総人口よりもやや高いことがわかった。これは寿命の延び（100歳時代の到来）が大きな要因とも考えられる。印刷産業のV字回復には産学官の共同研究体制からシンギュラリティ大学(SU)の活用、Society5.0への参加及び未来投資を促進し、多様性のある印刷産業を目指すことが必要不可欠であろう。各年次のpageのOpen Eventでは2010年から人財育成、環境、情報セキュリティの諸問題について報告してきた。人財育成に関し、2017年の昨年までに12keysをまとめた。

本報告では人口減少に伴う、生産性の低下が印刷産業でも喫緊の課題であり、内外の文献から、人財育成のあり方を推論した。今回の2018のOpen Eventで（13）正直、（14）管理職と現場の良好なコミュニケーションの確立、（15）Entrepreneurshipの15Keysとした。以下、PPT（60枚）から抜粋して表題の調査・研究内容を報告します。（2018年2月7日、サンシャイン文化会館7階701会議室 page2018Open Event）配布文献などを含め詳細は国際印刷大学校のHP [www.media-igu.com](http://www.media-igu.com) を参照して下さい。

連絡先； [kinoaki@mpd.biglobe.ne.jp](mailto:kinoaki@mpd.biglobe.ne.jp)

以上